



令和3年2月17日

山形市長 佐藤孝弘 様

山形市環境審議会
会長 伊藤 清郎



(仮称) 第4次山形市環境基本計画の策定について (答申)

令和2年7月30日付環第165号で諮問されました「(仮称) 第4次山形市環境基本計画」について、当審議会において慎重に審議した結果、今後10年間の山形市の良好な環境づくりの基本的な考え方として適切であると認め、ここに答申します。

この度の「(仮称) 第4次山形市環境基本計画」では、基本目標1に「脱炭素社会」が掲げられました。今後は「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向け具体的な検討を行うとともに、市全体でこの高い目標の実現のための取り組みを進めていく必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症の世界的流行が我々の生活や経済に与えた影響は非常に大きく、「感染症に強いまちづくり」の重要性が高まっています。

この計画は、山形市の環境に関する施策の最も基本となる計画であることから、計画の策定・推進にあたっては、これら社会の動向を的確に捉え、経済・社会・環境における関連課題との相乗効果を重視しながら、「めざす将来の環境像」実現に向けた取り組みが着実に進められることを希望いたします。